

一般財団法人川崎新都心街づくり財団平成 26 年度事業報告

期間：平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

I. 総合報告

昨年より検討を進めてきた「しんゆりマルシェ」を開催することができた。開催にあたり、行政、大学及び大学生、地域の公共機関、地域団体、区民々等多くの方が労を惜しむことなく協力していただいた。これは、一致団結して目標を達成したことはタウンマネジメント（TM）の根幹を共有できたものと思え、仕組みへの足掛かりになったものと判断する。

また、他の活動事業についても計画通りに進められたので達成したものと思える。

公益法人化への移行については、県との見解の相違により取り下げを行った。

II. 事業内容

1 市民交流事業

1) 街づくりに関する資料の収集・提供・援助

麻生まちづくり学校の 10 年誌

都市計画マスタープラン麻生区構想の実現化の一つの方策として始まった学校で、地域のことは地域で解決する考え方と協働と参画の街づくりを目指して進められた。10 年間の活動記録がまとめられており、行政と市民のまちづくりに対する思いが窺える。

2) 街づくりに必要な環境整備に関する活動

a) 市民団体への協力

会議室の貸出し：25 回（内有料 18 回）

b) ホームページの活用 (<http://www.kncf.net/>)

UP 回数：5 回

c) 麻生アシストクラブ

アシストクラブ主催の下記行事にスタッフとして参加する。

フロンターレ戦応援（等々力 7/12）、青玄まつり 11/9、監督選手激励会 2/25、役員会 9 回。

3) 新百合ヶ丘ポータルサイトの研究

「新百合ヶ丘ポータルサイト」及び「しんゆりマルシェ」を立ち上げる。情報更新等で修正すべきことは有るも、イベント告知 PR 等で大いに役立ったものと思える。

2 調査研究事業

1) 地域の歴史と文化に関する資料の収集および編纂

麻生区の発掘調査

「小田急沿線の不思議と謎」：浜田弘明 実業之日本社

当地域に関連する「なぜ新百合ヶ丘が勾配のきつい丘陵地につくら

れたのか？」や「柿生駅の由来」などが明瞭簡潔に記載されており、小田急線を介して当時の状況を理解するうえで参考になる。

2) 中心街地を活性化する地域運営のあり方

a) 新百合ヶ丘地域活性化TM計画研究会開催

目的：新百合ヶ丘地域の街づくりを推進するタウンマネジメント(TM)地域に根付いた組織の設立を目指す。

構成委員：財団役員、東京都市大平本教授、専修大学徳田教授、駒沢女子大学太田教授、昭和音大武濤教授、日本映画大学石坂教授、東海大学加藤教授、田園調布学園大学山崎教授、東京都市大末繁講師、(株)エリアブレイン

活動実績：10/25「しんゆりマルシェ」において下記の活動を行った。

東京都市大：・しんゆりマルシェ実施までの経緯の展示を行う。

- ・パラソルステージ(ビニール傘に子供によるアート作)
- ・パラソルアートによる誘導ギャラリーの作成
- ・大学生によるコンシェルジュ衣装作成及び案内
- ・PR用会場MAP・パンフレット作成

専修大学：・会場の資源分別ごみ箱の作成及び当日の管理・整頓
・地産地消フードフェスによるスタンプラリー

駒沢女子：・しんゆりマルシェのPRポスターデザイン等の作成

昭和音大：・ストリートダンス、管楽器演奏

映画大学：・学生が育成した農産物の販売

田園調布：・ハロウィングッズの作成

- ・紙粘土によるオリジナルキャラの作成
- ・ゲートボウリングでアートを作成
- ・チアーダンス

東海大学：・来場者調査

明治大学：・黒川農場の紹介及び野菜の販売

b) 中心市街地を活性化する実践活動「しんゆりオリーブ祭り」

駅南口デッキ上に植えられたオリーブの樹木に着目し、新たな観光資源及び当地区の活性化を図る一手段としての祭りである。

本年は、しんゆりマルシェにおいてオリーブ苗木の無料配布および昭和音楽大学キャンパス内にオリーブ植樹を実施した。また、期間を通して新百合ヶ丘で行われる行事のPR活動を実行した。

期 間：平成26年10月4日～11月3日

広 告：区民祭、しんゆり映画祭、昭和音学園祭

c) 「しんゆりマルシェ」の開催(平成26年10月25日)

多年齢層の方が集い、交わり、一日を楽しく過ごせる場所を提供するために、当年はオリーブまつりの枠内で「アートと食の祭典」をテーマに開催した。来場者25,000名。

会場は住宅展示場の第1会場、ゆりてらす・リリエン又通りの第2会場で、出し物は以下の通り。

- ・アート&クラフト23店舗
- ・農産物関連18店舗

- ・ワークショップ&展示13店舗
- ・キッチン関連23店舗
- ・パフォーマンス関連12団体
- ・ゆるキャラ3体

予想以上に好反響を得た。次回開催の声を来場者等から多く得ることができた。

3) 地域商業自立促進事業〔調査分析事業〕(新規)

アート展示の常設化を望む地域住民、クリエイターなどの声がマルシェによって喚起され、30年たった今、第2の子育て世代を中心に「まちにどのようなものが切望されているのか」調査した。

- 結果：①タウンカフェの設置について、ニーズとマーケティングに関する調査を性別、世代別での要望を明確にした。
- ②新百合ヶ丘周辺のクリエイターに対し、立地条件、規模、費用負担を明確にした。
- ③この地域の商圈特性を明確にし、立地可能なカフェの採算性の基礎条件を設定した。
- ④類似事例を参考としてモデルプランを設定した。

4) 麻生らくがき消し隊への参画

- ・消去実績：新百合ヶ丘駅周辺2回、打合せ4回
- ・根気よい活動の結果、落書きの箇所および規模が減少した。

3 イベント事業(文化活動)

1) KAWASAKI しんゆり映画祭実行委員会への支援

- ・開催期間 平成26年10月25日～11月3日
- ・財団提供ドキュメンタリー映画
「南風」 監督 萩生田宏治

編集者の藍子は、気乗りしないままにサイクリングの取材で台北を訪れた。現地の少女と偶然に出会い、彼女と一緒にサイクリングの旅がスタート。九份、淡水など名所取材をするうちに、旅先での出会いと美しい風景が藍子の気持ちに変化をもたらす。町おこしとして自転車レースが物語を繋いでいる。

2) 主催事業

シニア向けワークショップ「役を演じて非日常体験」

人前でせりふを言うことを出発として臆する気持ちを開放し、生きがいのある生活を楽しむ。参加者24名

基礎講座：H26/12/15日 「リアル」

内容：「現実の再現」に近い演技をする。解釈の違いによって生まれる様々なパターンを楽しむ。

：H26/12/18日 「ファンタジー」

内容：演劇ならではの非現実的な表現を楽しむ。セリフの無い演技や身体表現にも取り組む。

H26/12/26日 「デフォルメ」

内容：役の形を借りて喜怒哀楽をはっきり出し、開放感を

楽しむ。演劇独自の表現を紹介する。

〈結果〉毎回講座の内容が違うので楽しい。初めての方は、演技タイプの違いが分かり、その芝居によって正解が異なることが分かる。

連続講座：H27.3.21～3.30 昼・夜/各5回開催

内容：ショートコントを2、3人で演技する。

30日に新百合エルミロードで発表会を2回上演した。

様子は財団HPで閲覧可能。参加者13名。

会場協力：小田急エルミロード、川崎市アートセンター

3) 共催・後援活動

a) 新百合イルミネーション事業 (Kirara@アートしんゆり 2014)

実行委員会組織と共同で催した。

- ・期間 平成26年11月15日(土)～平成27年2月14日(土)
- ・イベント 点灯、クリスマス、消灯イベントを行う。
- ・協賛協力金 713万円 (80社・団・個)
- ・財団事業は、点灯式のミニコンサートの提供を行った。

b) しんゆりオリーブまつり

NPO しんゆり・芸術のまちとの共催。

Ⅲ協議会、委員会などへの協力

1) 川崎新都心街づくり推進協議会

- ・川崎市より開催要請なし。

2) 特定景観地区及び景観形成協議会 (まちづくり局景観・まちづくり支援課)

- ・新百合ヶ丘駅周辺の景観維持区域の内、AB区域の広告等の在り方について現行の条例を合理的運用について協議する。
- ・当財団はCD区域についても活動に委員として引き続き参加することになる。

3) 麻生まちづくり学校講座5回 打ち合わせ7回

「芸術を生かすまちづくり」に焦点をあてて、芸術・文化に関する地域機関との協働活動により麻生区の芸術とまちづくりがどのように行われているかを現場視察し、今後の担い手としての知識と情報を得る。

第1回 「芸術を生かすまちづくり」これまでの取り組みを知る。

ワークショップの開催 8/30(土)

第2回 「川崎しんゆり芸術・アルテリッカと芸術発信の場川崎アートセンターのあるまち」 アートセンター9/22(月)

第3回 「映像のまちづくり・KAWASAKIしんゆり映画祭など、映画と地域とのかかわりによるまちづくり」 日本映画大学12/6(土)

第4回 「音楽を通して地域の交わりを持つまちづくり」 昭和音

楽大学2/7（土）講演後にオペラ「魔笛」を聴く。

第5回 「これからの芸術・文化によるまちづくりを考える」のワークショップ。諸施設視察と麻生区構想について受講者によるワークショップを行い、意見交換を実施した。3/14（土）

- 4) しんゆり芸術祭（アルテリッカ）への参加
平成26年4月下旬～5月上旬に開催されたアルテリッカしんゆり2014に実行委員および当日運営委員として参加。
- 5) 川崎市アートセンターに関する協力
運営協議会委員として参加1回
- 6) 麻生区暴力団等排除活動推進協議会 1回（麻生警察）
暴力団の活動状況および遭遇した場合の対応策等についての講演に参加。
- 7) 麻生防犯協会
総会および研修視察に参加
- 8) 麻生観光協会（1回/月）
理事として当協会の企画・運営に参加。
- 9) 麻生アシストクラブに参画（川崎市のまちづくりの一環としてできた団体）
青玄まつり、監督選手激励会、ホーム・アウェイ戦のイベントに協力した。
- 10) 区民会議に参画（第5期）
27年度の活動テーマは、「若い世代が住みやすいまちづくり部会」、「市民活動・地域活動の活性化部会」に決まり、当方選出の委員は前者に所属する。2年間の活動期間で、「若い世代がすみやすいまちづくり」として解決策を検討することになる。

IV 賛助会費活動

- ・会費納入金額：31,430円
- ・新百合イルミネーション等に当該費用を使用した。

V 公益財団法人への移行

H26.7月に移行申請を行ったが、当財団の性質と県との考え方の相違により、一般財団の方が事業活動をスムーズになし得ることが判明したので、申請を取り下げることにした。

VI 財団の事務報告・方針

理事会7回／評議員会2回開催した。

以上